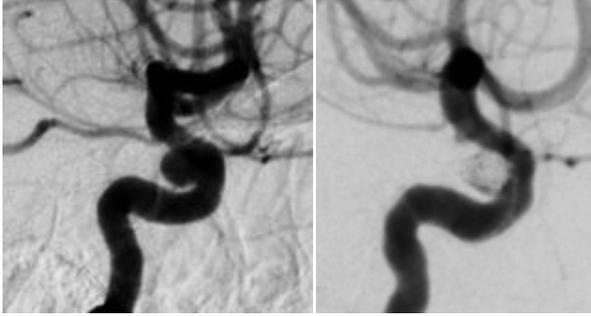
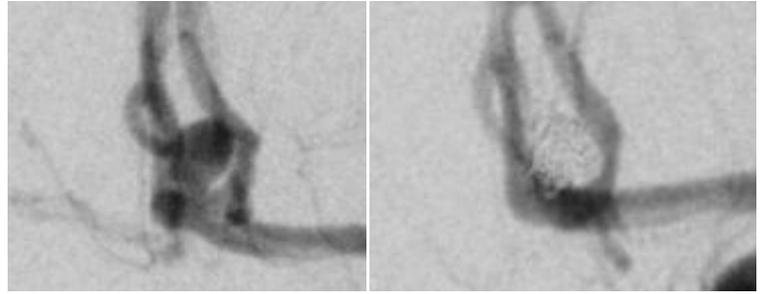


脳動脈瘤のコイル塞栓術

脳動脈瘤は破裂するとくも膜下出血を起こします。破裂を防ぐため、コイル塞栓術と呼ばれる血管内治療が実施されます。カテーテルを足の付け根の大腿動脈から挿入、カテーテルの中を非常に細いマイクロカテーテルを通して動脈瘤に到達します。マイクロカテーテルを通して塞栓物質（脳動脈瘤の形状に一致するように柔軟な構造で極めて細いプラチナ製コイル）を脳動脈瘤の中に詰め、動脈が流れ込むのを遮断することで破裂を予防します。



内頸動脈瘤のコイル塞栓術前後



前交通動脈瘤のコイル塞栓術前後